

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等		備考	
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数238社 ・巡回窓口指導延件数547件 ・課題解決提案件数17件 ・経営革新承認件数3件	小規模事業者	目標① 巡回窓口指導延件数 (達成度 84.2 %)			目標② 課題解決提案件数 (達成度 85.0 %)			得られた効果 巡回窓口指導延件数や課題解決提案件数の目標をクリアできなかったが、一つ一つの支援については中身を充実させることができた。計画の認定件数は、経営革新計画3件、経営力向上計画2件、先端設備導入計画2件。		総合評価 A	事業実施側の 自己評価 B	事業者への 調査結果 A	満足度	補足		目標
				目標数値	650	実績数値	547	目標数値	20	実績数値	17				必要性	A	①下げる②現状維持	
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数49人 ・指導延日数258日 ・指導延回数620回	小規模事業者	目標① 記帳指導事業者数 (達成度 108.9 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 小規模事業者の記帳能力向上を図るとともに、小規模事業者が正しい税務申告を行うように指導を行うことで、税務行政の円滑な運営に寄与することができた。		総合評価 A	事業実施側の 自己評価 A	事業者への 調査結果 A	満足度	補足	目標	記帳指導員2名の体制により、記帳指導の改善と各種業務の効率化を図ることで今年度目標と同様に指導を行っていく。
				目標数値	45	実績数値	49	目標数値		実績数値					必要性	A	現状維持	
講習会開催事業	事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場所を提供する。特に、施策情報の提供などを強化することで、事業者の新たな取り組みへの支援を強化する。	講習会開催数及び受講予定者数 ・集団講習会 6回 67人 ・個別講習会 9回 143人 計 210人	小規模事業者	目標① 集団講習会参加数 (達成度 134.0 %)			目標② 個別指導会参加者数 (達成度 102.1 %)			得られた効果 講習会事業に参加することにより、経営に関する最新のトピックスを事業者に提供することができた。		総合評価 A	事業実施側の 自己評価 A	事業者への 調査結果 A	満足度	補足	目標	個別の講習会については、税務対策に関連した内容を中心に現行通り実施していく。集団の講習会については、評価対象の講習会が減るため、目標を下げる。
				目標数値	50	実績数値	67	目標数値	140	実績数値	143				必要性	A	①下げる②現状維持	
雇用促進事業	若年者に対しては、自己の適正や就業経験等に応じた職業選択並びに就職に関する知識や能力の向上を図る機会を提供することから、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートするため、行政、商工会、商工会議所が主体となって開催する企業合同説明会を開催。イベントにあわせて若年者を対象に就職に関する個人相談会、就職支援セミナー、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援することを目的とする。	・大口町、扶桑町合同就職フェア 時期 5月30日（木） 場所 扶桑町中央公民館 参加者数60人 参加事業者数35社 ・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）合同就職フェア 時期 11月18日（月） 場所 すいとびあ江南 参加者数46人 参加事業者数41社	若年求職者	目標① セミナー参加者延人数 (達成度 53.0 %)			目標② 参加延事業者数 (達成度 126.7 %)			得られた効果 地元企業の人材確保をサポートすることができ、若年者に対しても企業概要・採用等に関する情報が得られ、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援につながった。		総合評価 B	事業実施側の 自己評価 B	事業者への 調査結果 B	満足度	補足	目標	次年度についても引き続き、春に大口町・扶桑町との就職フェア、秋に3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）の就職フェアを現行通り実施する予定である。
				目標数値	200	実績数値	106	目標数値	60	実績数値	76				必要性	B	両方現状維持	
共同販売促進事業	事業者の集まりであるという利点を生かし、共同で事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、面的な広がり支援する。	・プレミアム商品券事業 時期 9/8～9/29 使用期間 10/1～1/31 目標 参加事業者数241社	会員企業及び地域の消費者	目標① 商品券参加事業者数 (達成度 96.4 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 今回プレミアム率15%のプレミアム商品券事業は、大型店の力も借りながら、扶桑町における商店を面としてPRすることにより、消費税率引上げ対策として、地域内における消費の循環を促すことができた。		総合評価 A	事業実施側の 自己評価 B	事業者への 調査結果 A	満足度	補足	目標	次年度についても引き続き、同時期にプレミアム率10%で実施予定である。
				目標数値	250	実績数値	241	目標数値		実績数値					必要性	A	現状維持	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。



2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等						
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康維持増進事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 各種共済事業の普及活動 各種共済加入者延人数363名  ・健康維持増進事業 内容 経営者、従業員及びその家族の健康維持増進のため歩け歩け大会を実施 6/23 白川郷 参加者数84名	会員企業の事業主及び従業員	指標	各種共済加入者数 (達成度 100.8 %)			指標	歩け歩け大会参加者数 (達成度 129.2 %)			共済事業について、小規模事業者における有事の際の補償としての役割を果たすことができた。また、各種共済を複合的に提案し、有事の際の補償を広くすることで、事業継続力の強化に対して寄与することができた。歩け歩け大会参加者数について、事業者のみならず従業員等も対象とし、福利厚生の便益に寄与することができた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	今後も各小規模事業者、それぞれに適した共済を提案していく。歩け歩け大会については、昨今のコロナウイルスの影響を踏まえ、現状通りの目標数値とする。
				目標数値	360	実績数値	363	目標数値	65	実績数値	84					A		A		両方現状維持	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 内容 労働保険料の申告納付と各種届出等の事務手続の代行 労働保険事務組合委託事業所24企業	労働保険事務組合員	指標	事務組合委託事業者数 (達成度 104.3 %)			指標	(達成度 %)			労働行政と協力を図りながら、事務組合員の福利厚生の一環としての労災保険、雇用保険の事務を代行することにより、社会保険事務の適正化と普及に寄与しつつ労働環境の整備ができた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	実績に基づき、目標数値を上げる。実施方法については現行通りを行う。
				目標数値	23	実績数値	24	目標数値		実績数値						B		A		上げる	
地域産業祭事業	扶桑町主催ふそう町民まつり事業に伴い商工会事業所による商品即売会と地場特産品の販売及び地元製造事業者による工業製品の展示会等を実施し商工業の振興と地元町民の心のふれあいを深め地域活性化に寄与することを目的とする。	・ふそう町民祭り参画事業 時期 10月19日（土） 内容 会員事業者や支援団体による商工物産展や模擬店の実施 参加事業者数24社	会員企業及び地域住民	指標	参加事業者数 (達成度 96.0 %)			指標	(達成度 %)			地元商工業者と町民の間において、心の交流が図られ、事業者と住民との間の理解が進んだ。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	実績に基づき、目標数値を下げる。次年度も実施方法については現行通りであるが、地域住民と事業者の交流の場としての役割を維持しながら参加企業の募集に努める。
				目標数値	25	実績数値	24	目標数値		実績数値						B		A		下げる	
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 視察研修をはじめ、ご当地商品の開発、地域イベントへの参加 青年部部員数16名  ・女性部事業 内容 視察研修をはじめ、セミナーの開催、地域イベントへの参加 女性部部員数42名	青年部員及び女性部員	指標	青年部部員 (達成度 64.0 %)			指標	女性部部員 (達成度 105.0 %)			地域の青年部・女性部間のネットワークを構築し、同じ団体の一員であるという一体感を醸成するとともに、イベントを行うときの団結力を形成できた。また、地域イベントに出展することで活動のPRにもつながった。	総合評価	B	事業評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	事業後継者や共同経営者としての資質向上を図るために研修活動や地域貢献を中心とした活動を実施していく。特に女性部については、地域活性化活動の一環として「おもてなし交流事業」を進めていく。
				目標数値	25	実績数値	16	目標数値	40	実績数値	42					B		B		①現状維持②上げる	
セミナー事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもとづき、金融機関と合同によるセミナー事業を実施する。事業計画策定に繋げる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業 「販路開拓支援」「経営革新支援」などのテーマのセミナーを開催する 時期 平成31年4月～令和2年2月 全6回 目標 参加者延人数120名	中小事業者	指標	参加者延人数 (達成度 80.0 %)			指標	(達成度 %)			経営発達支援計画に沿った形で、事業者の経営力の向上に資するため、情報提供を行うことができた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	セミナー事業については、昨年同様に実施を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、講習会については開催を減らす方向で検討をしている。
				目標数値	150	実績数値	120	目標数値		実績数値						B		A		下げる	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等						
女性向実践型創業セミナー事業（国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもとづき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1ヵ月程度座学のセミナーを実施したら、その後、イオン扶桑店にて実地における創業実習をおこなう。	・女性向創業セミナー 時期 セミナー（全6回） 7/2～8/6 毎火曜日 チャレンジショップ（全2回）10/19、11/14・15 場所 商工会館、町民まつり会場、イオン扶桑店 創業セミナー参加者13名	女性創業者・創業希望者	指標	参加者人数 (達成度 130.0 %)			指標	達成度 (%)			経営発達支援計画に沿った形で、地域内における女性創業者に対して創業のためのインキュベーション機能としての役割を果たすことができた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	次年度もセミナー、チャレンジショップとも現行通り実施する予定である。
				目標数値	10	実績数値	13	目標数値		実績数値						B		A		現状維持	
展示会出展事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもと、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展をおこなうことで、販路の拡大を支援する。	・展示会出展事業 内容 メッセナゴヤ2019への出展 時期 11月6日（水）～9日（土） 参加企業数4社	中小事業者	指標	参加企業数 (達成度 66.7 %)			指標	達成度 (%)			経営発達支援計画に沿った形で、地域内において地域資源を有効に活用している事業者や独自の技術を持つ事業者のPRの場として役に立った。	総合評価	B	事業評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	次年度もメッセナゴヤへの出展を現行通り実施する予定である。
				目標数値	6	実績数値	4	目標数値		実績数値						B		A		下げる	
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継続・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、その資質向上に資するセミナーを5回実施する。	・資質向上セミナー 日時・参加者数 第1回労務 7/4（木）14名 第2回税務 8/8（木）11名 第3回労務 9/18（水）21名 第4回BCP 11/28（木）10名 第5回補助金 1/8（水）6名 参加者延人数62名	若手後継者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 124.0 %)			指標	セミナー参加満足者延人数 (達成度 122.5 %)			今後、事業を引き継いで各々の企業の経営力を高めていくべき事業後継者の資質向上の機会として役に立った。	総合評価	A	事業評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	次年度も青年部員の資質向上を図るべくトレンドを掴んだセミナーを現行通り実施する予定である。
				目標数値	50	実績数値	62	目標数値	40	実績数値	49					B		A		両方現状維持	
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A	A	両方現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。